

NST 通信

2008年7月9日発行
第004号

臨床検査科でスクリーニング開始！

こんにちは、NST委員会です。
4月からNSTに新しく加わった臨床検査科で、アルブミンスクリーニングが始まりました。活動内容を説明しますと、採血の入院時一式や標準生化2にはアルブミンを測定する項目が入っています。採取された検体は臨床検査科に運ばれて分析されますので、結果は臨床検査科で一律把握できます。そこで、アルブミン異常値（3.8g/dl以下、5.3g/dl以上）の患者様をピックアップし、サポートに入るようになりました。

シリーズ・NSTの活動について ②NST回診、その後の対応

NST回診は、患者様の経過を見ていく事が大切です。回診を行いアセスメント報告書を提出、それをアドバイスとして主治医が治療をはじめても、そこで終りではありません。患者の状態、変化を把握する為に再評価が必要です。そして再評価を元に更なる工夫が必要になると思います。そこで、『栄養管理再評価』と言う用紙がありますので、それに記入して再評価してください。栄養状態の推移が見られます。また、そこで栄養的な問題がありましたら、栄養管理計画書の裏に『栄養管理経過および連絡票』がありますので記入して栄養科に下ろしてください。要請があればいつでも臨時回診を行いますので、お声をかけてください。窓口は栄養科となっております。

ちょっとCM～♪ ひみつのアイテム「スペカラーゼ」

この、みょーな名前のアイテム。
何に使うかと言えば、ペースト粥に混ぜて使います。
ペースト粥は口の中でべたついて、実は人によっては飲み込みにくいものなんです。その飲み込みにくさを改善したのがスペカラーゼでっす！
ペースト粥がババロアみたいになると言えば分りやすいですね！
もちろん、栄養価は変わりませんよ。

NST委員会では皆さんの質問をお待ちしております。
栄養科を窓口、どうぞしお寄せください。

次回もお楽しみに～♪

NST委員会 広報部